

# 地区チーム研修セミナー



## 「ロータリーを学ぼう」

2024年2月18日(日)

長崎インターナショナルホテル

D. 2740 2007~09 P. G. 野口 清

# 1. ローターの仕組みについて(関係性)

クラブ

国際ロータリー(地区)

ロータリー財団

# 2. ローター会員とは

原点を考える

# 3. ローターリーダーとは

皆さんに期待するもの

# 平等对等

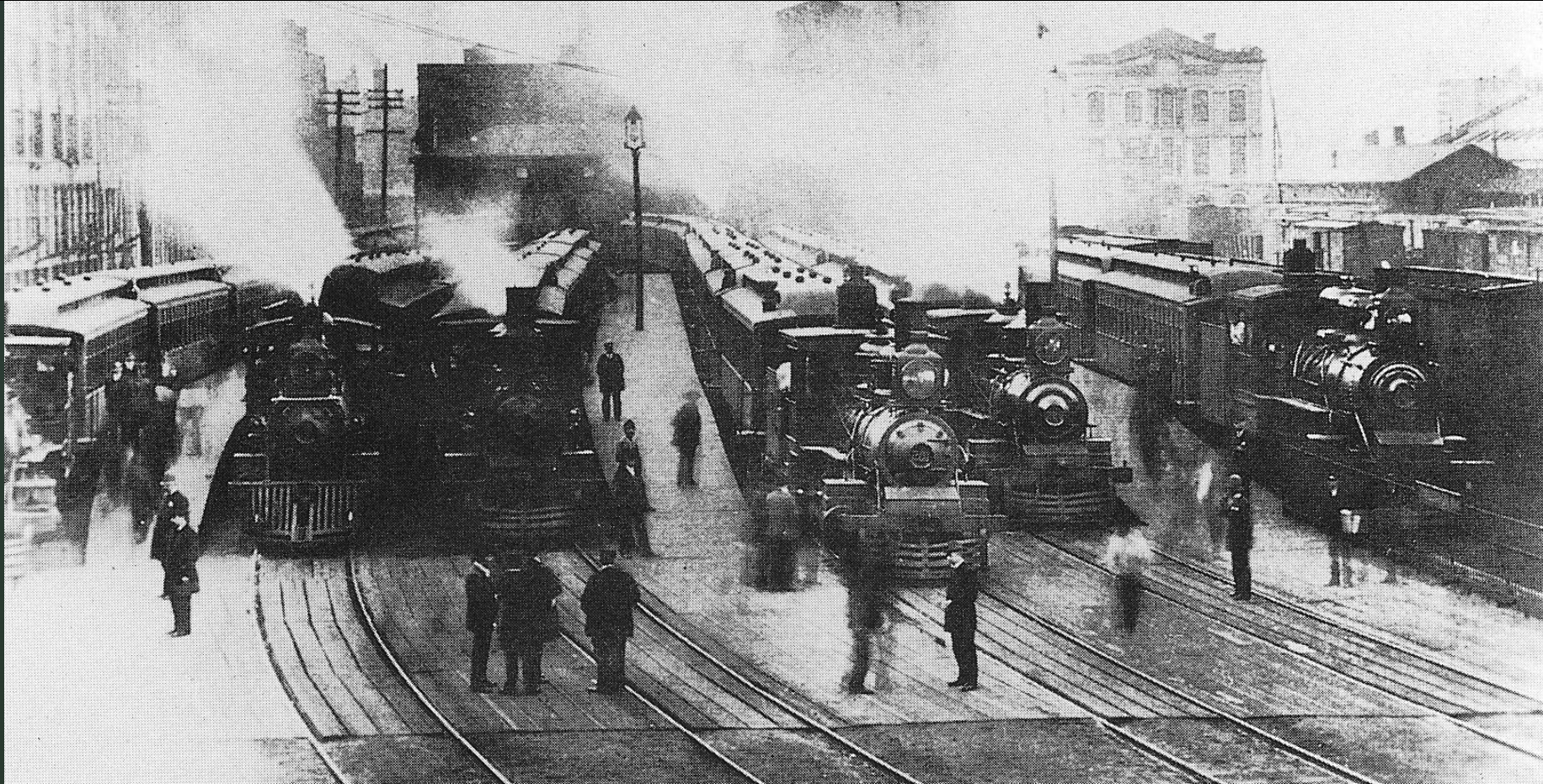
▶ 役割分担

# ロータリーの創設



成功を夢見た人たちが集まった、無法と腐敗の街

シカゴ





すべての人はライバル  
孤独感と疎外感に加えて、  
過酷な自由競争に敗北するかもしれない  
という恐怖感が付きま  
とっていた。



シルベスター  
シール  
(石炭商)

ポール  
ハリス  
(弁護士)

ガスターバス  
ロア  
(鉱山技師)

ハイラム  
ショーレー  
(洋服屋)

# 国際ロータリーの歴史 その1

## シカゴロータリークラブ

1905年から1907年頃までは親睦が中心

1907年以降の課題

### 1. 世の為人の為の奉仕の自覚

親睦のエネルギーをもって世のため人のためのエネルギーに転化しようと考えた。

### 2. その運動の拠点としてのロータリークラブを 全米に作ること(ロータリーの拡大)

しかし、クラブがロータリー拡大作業をすると、  
クラブの親睦が崩れる。

## 国際ロータリーの歴史 その2

両方(親睦・拡大)の要求を両立させるためには、全米のロータリークラブの合議によって、奉仕哲学の解明とロータリーの拡大だけを専門に遂行する団体を作り、親睦のことは、主としてロータリークラブに委ねれば良いと考えた。これが全米ロータリークラブ連合会でした。

1912年 国際ロータリークラブ連合会

1922年 国際ロータリー  
リー Chesley R. Perry



# 国際ロータリーの役割

1. 奉仕の哲学の追及
2. ロータリーの拡大  
新しいロータリークラブを作る。
3. 情報の伝達  
「ザ・ロータリーアン」誌を正式文書として  
地方誌などで全世界、RI等の情報を  
定期的に伝達する。

という3つの仕事を委託された受託機関

# 国際ロータリーの権限

1. 直接監督権 (国際ロータリー細則第3条3項)
  - ・標準ロータリークラブ定款の採用
  - ・全世界にロータリークラブを作ること
  - ・ザ・ロータリーアン誌又は地域雑誌の講読
2. 指導・助言権 (受任義務はない)
  - ・職業倫理訓、モットー、四つのテスト等
  - ・奉仕の実践の提唱

# 標準ロータリークラブ定款



1922年に

ロータリークラブの中核部分だけは全世界のすべてのクラブが共通に持とうという考え方で出来上がったもの。

- ・一業種一会員制の適用(職業分類表作成)
- ・例会出席適用(1週に1度)

## 国際ロータリー

全世界のロータリークラブの連合組織体であって、ロータリアンの集合体ではありません。

国際ロータリーはロータリアンを直接監督し、ロータリアンに指導と助言を与えることは出来ない。

# ロータリーとは？



利己と利他との調和を目的とする人生の哲学である。

(1923年セントルイス国際大会における決議第23—34号の冒頭第1項)

企業の根底に奉仕を置くべしとする理想を追求することを目的とするクラブ活動のことである。

(クラブ定款第4条の「ロータリーの綱領」)

# ロータリーとは？



資本主義経済社会 → 企業の目的は利潤の  
追求(儲け)

▲  
儲けを否定するのか？

ロータリーの「儲け」 → 三方良しの企業活動

# ロータリー財団について その1

国際社会に対立している国家間の紛争を個人の善意をもって解決していこうというのがロータリーにおける国際奉仕の実践ですが、ロータリーは、第一次世界大戦の最中であって、原理的に奇妙なもの作り上げました。これがロータリー財団です。

最初は1917年、時の国際ロータリークラブ連合会会長アーチ・C・クランフの提唱による「国際理解と親善をの目的とする基金」の設定でありました。これが時移って1931年に「ロータリー財団」と名称を変更

## ロータリー財団について その2

ロータリー財団に対する初期のロータリアンの反応は、非常に冷たかった。

1. 国際ロータリークラブ連合会を作ったのはロータリークラブである。クラブのおかげで連合会ができたのである。従って、連合会がロータリークラブの権限を侵害することは許されない。

2. ロータリークラブは、連合会に「国際理解と親善をの目的とする基金」の管理など認めたことはない。

26ドル50セント(次年度国際大会のホストクラブ カンサスシティーロータリークラブ 200名以上の会員を有する)



## ロータリー財団について その3

### ポール・ハリス

ロータリー運動の中で色々理論はある。しかし、神様でもない者が、理屈を言ったり実践したりするのであるから、どれも満点のものはない。

「自分はロータリーの生みの親として、善意で提唱され、善意で実在するに至ったものならば、例え原理的に間違っているとしても、その因縁は大事しなければならない。正しいとは言わない。しかし、ロータリー運動史上、実在するに至った以上は大切にしよう」

ロータリーの寛容論 → INCLUSION (包摂性)

## ロータリー財団について その4

「国際理解と親善をの目的とする基金」から  
「ロータリー財団」へ

1927年から準備にかかり1931年に名称変更

アメリカ国内税法上は、民間の善意を社会福祉の育成のために出した金は、企業の損金扱いにしてくれるという特例がる。

しかし、依然としてお金は集まりませんでした。

1945年、第二次世界大戦が核爆弾により悲惨な結果

1947年1月27日ポール・ハリスがこの世を去った。

彼の死を無駄にしてはいけない、彼の志を受け継がなければならない。

## ロータリーにおけるリーダーシップ

一般に、リーダーシップ即ち指導性と言うとき、それは指導する者と指導される者という上下の関係として捉えられていますが、ロータリーにおけるリーダーシップというのは、会社のような上下関係における指導性ではありません。

ロータリーは会社のような縦型社会ではなく横型社会であるのでロータリーにおけるリーダーシップは、ロータリアン全てを**平等対等**なものに見る社会におけるリーダーシップを意味するものです。

## ロータリーにおけるリーダー

1. 議題を提供する。
2. 自分の意見は挟まない。
3. 互いに意見が出るよう促す
4. 話が議題からそれたら元に戻す